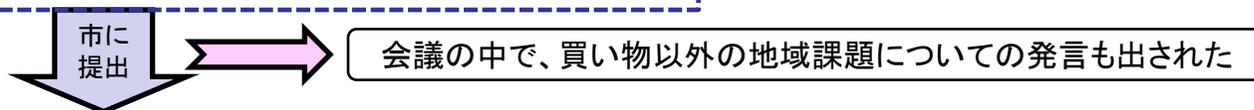
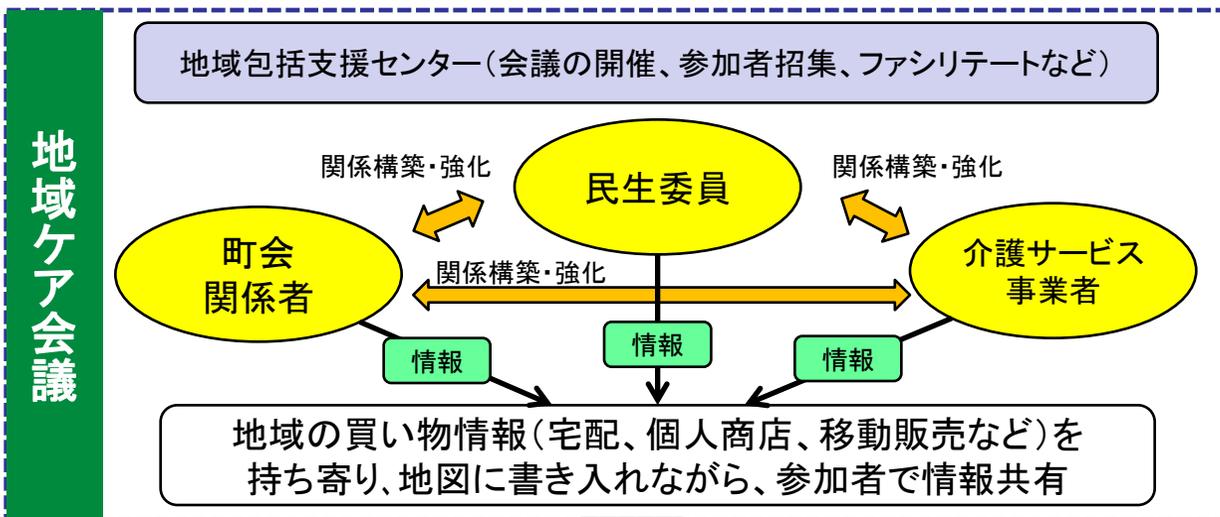


地域ケア会議から生まれた「買い物マップ」

平成22年度から、地域課題の解決を目指した「地域ケア会議」を実施
初年度は、「買い物弱者のいない街“はこだて”を目指して」を統一テーマに各圏域で開催



- 市で全圏域を集約のうえ、一覧表を作成し、参加団体などへ情報を還元
- 翌年度には、「函館市高齢者のための買い物マップ」作成

高齢者の支援のために活用

成果

- ・地域ケア会議の開催により、地域内の関係機関相互の顔の見える関係が広がった。
→「地域づくり」、「地域課題の発見」
- ・地域ケア会議を継続し、地域ごとに、課題の抽出から課題解決に向けた話し合いが行われるようになった。→地域コミュニティ意識の向上
- ・地域包括支援センターがファシリテーターを経験→ファシリテーションスキルの向上